

対話とチャレンジ

新年あけましておめでとうございます。
市長に就任して8ヶ月が経ちました。コロナ対策を言い訳にはいきませんが、まだまだです。引き続き頑張ります。
就任してから「対話」と「チャレンジ(挑戦)」を提唱してきました。昨年パラリンピックで金メダルを獲得した杉浦佳子選手は、何歳になってもチャレンジできる姿を見せてくれました。掛川で子育てをしてみたい、農業をしてみたい、地域活動してみたい、介護に取り組みたいなど、様々なチャレンジ(挑戦)を応援し、本音の対話の機会を大切にします。
本年1月9日には将棋「王将戦」が開幕し、藤井聡太竜王(四冠)が渡辺明王将(三冠)に挑戦する第1局が掛川城二の丸茶室で開催されます。2月の北京五輪では静岡県勢初の冬季五輪メダル獲得を目指す桜が丘中出身の高校生、スノーボード・アルペン女子の三木つばき選手の活躍が期待されます。また、掛川出身の大島司さんによるサッカー漫画「シュート！」続編が本年にオリジナル新作アニメ化されることも発表されました。
今年も対話とチャレンジを全力投球で進めていきますので、引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

掛川市長 久保田 崇



全国報徳サミット in 掛川の司会を務めた掛川工業高校生徒と。



7月に発生した熱海土石流災害の現場視察。



早朝 6:45 より予告なしの職員招集訓練を行いました。



中東遠6市町と公立5病院の連携協定を締結。



パラ自転車ロードで2冠達成、杉浦佳子さんが掛川市凱旋。



東京五輪女子ソフトボール金メダルの山崎紀選手と。

市民と行政の対話を重視しながらまちづくり

対話志向

子育てママとの意見交換会

子育て世代のお母様を中心に皆様と意見交換させていただきとても充実した時間になりました。話題は、待機児童、保育の質、不登校、発達支援、学園化構想、保育士配置、子育て支援センターからお祭りや地域の話など、多岐にわたりました。



YouTube
こちらから動画をご覧ください。

かけがわまちづくりミーティング開催



形式的ではなく本音で対話する場作りをすすめます。12月14日に地区集会の代替として開催した「かけがわまちづくりミーティング」では中立的立場のファシリテーターやお手伝いの高校生にも参加いただきました。

新しい技術を取り入れ、掛川を次のステージへ

未来試行

掛川市公式LINE登録者32,000人突破



掛川市公式 LINE 登録者は32,000人を突破。掛川の特産品プレゼントキャンペーンも好評でした。子育てや観光、防災情報などの情報を充実させていきます。

全国初、夜間自動運転車両の実証実験

夜間に公道で実験を行うことは全国初の取組。光のオブジェ展に合わせて駅前ですべての実験は事情により延期されましたが、引き続き未来の市民の移動手段について研究していきます。



掛川で12月自動運転実験
市議会で市長 全国初、夜間走行も
掛川市議会が11月、掛川市で公道で夜間自動運転の実証実験を行うことになった。掛川市で公道で夜間自動運転の実証実験を行うのは全国初。

既成概念にとらわれず時代に合った市政を

柔軟思考

県内初、副市長や広報戦略官等を公募

市政にとって重要なのは「スピード」と「柔軟性」。国や県の動きを見て、受け身で対応していくだけでは生き残っていけない。とくに危機的状況においてスピード感を持って、柔軟に対応していく。地方自治体から課題を見つけ、ポストコロナ時代に対応して積極的に打ち手を考え、地方から国に提案していき、地方から自治体に改革したいと考えます。



静岡県掛川市
「副市長」を初公募。
45歳、新市長と共に次のステージへ。

「4市長の会」発足で関係を強化



磐田、掛川、袋井、菊川の四市長が一堂に会し、情報交換をする「令三会」が発足。第六波に対応する医療連携や観光・移住面での広域連携などの意見交換を行っています。



茶エンナーレの開幕に合わせて、「市長室美術館」がオープン。



大淵の海岸防災林にて潮騒の杜植樹祭に参加。



震災から10年、陸前高田市の戸羽太市長と再会。



12月、掛川市ポッチャ大会でパラで話題の競技を初体験。



敬老の日、100歳おめでとうございます！



クロスセクター・リーダーズアワード特別賞を受賞。

久保田たかしの約束

選挙時のお約束の進み具合をお伝えします。



県内初、独自に抗原検査キットを10,000個備蓄



河野大臣(当時)との意見交換
接種率は88%を突破



「社長」懸念想像以上
久保田崇掛川市長
水の確保に大変苦労した歴史がある。JRの捉え方は、市民が水に対して抱いている懸念や不安とギャップがあるように感じている

静岡新聞(9/19)掲載



毎月、広報かけがわでコラム「久保田市長の全力投球」を連載しています。是非ご覧ください。

NEXT!
掛川を次のステージへ

安心 暮らし

コロナ対策

- ◎ 1. 集団感染を防ぐための検査キットを10,000個配備。
- ◎ 2. 16歳以上の全市民を対象としたワクチン接種を進める。

高齢者・福祉

誰もが健やかに暮らせる掛川市

- 1. 何歳になっても健康で生きがいを持って生活できる仕組みづくり。
- 2. 障がい者に優しいまちづくり。
- △ 3. ひきこもり当事者に寄り添った支援。

防災

すべての準備は災害死者ゼロのために

- 1. 河川改修・流域治水を通じた浸水対策の推進による自然災害による死者ゼロを目指す。
- 2. 2015年に作成された「防災ガイドブック」を改訂。
- △ 3. 2022年度：防災資機材を5,000セット配備。
- △ 4. 2022年度：総合治水計画の策定。
- 5. 2024年度：海岸防災林強化事業「掛川潮騒の杜」の進捗80%以上とする。
- 6. リニアについては、大井川の水量・水質に影響が出ないよう、静岡県とも連携してJR東海や国に対し強く訴える。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



産地賞、農林水産大臣賞受賞



候補地地元同意が前提
静岡新聞(10/30)掲載

記号の見方

- ◎: 完了
- : 着手済み
- △: 検討・準備中

活力ある地域経済

産業経済・農業

未来型産業と農業・茶業の推進

- 1. 上西郷工業団地への未来型産業の誘致と東山口地区と連携した新エコ3期の整備。
- 2. 新東名の倉真第2PAの整備とICの設置。東名掛川袋井間への新ICの設置。
- 3. 担い手不足による耕作放棄地対策。特に、農地の集約と基盤整備の推進。
- ◎ 4. 有機栽培に取り組む茶業を支援するための補助金を予算化。

南部振興

南部の発展が掛川を盛り上げる

- ◎ 1. シートピア(温浴施設)への民間活力導入を図る。
- ◎ 2. 掛川大東線(高瀬線)、西大谷トンネルバイパス工事の着実な実施。
- ◎ 3. 南遠地域教育環境整備推進協議会(旧:横須賀高校を守る会)と連携した同校の存続活動。
- 4. 三熊野神社大祭を国の無形重要文化財へ指定する。
- 5. 2022年度：大坂・土方工業団地の北工区を完成。
- 6. イチゴ・メロン・トマトなどの施設園芸の推進。先端技術の活用を進める。

移住

企業誘致と連携し人口拡大へ

- 1. サテライトオフィス化支援、お試し移住拠点整備を進める。
- ◎ 2. 地域おこし協力隊を活用した粟ヶ岳山麓農泊推進。



東京から移住した芳川翠さんを掛川市初の地域おこし協力隊に委嘱



よこすかめく森こども園落成



iPadを使用した授業風景



新婚さんの新生活をサポートします
掛川市結婚新生活支援事業費補助金
夫婦いずれも29歳以下 60万円
夫婦いずれも39歳以下 30万円
住居費及び引越し費用を支援

子育て・教育

安心して共働きできる社会

- ◎ 1. 2021年度「よこすかめく森こども園」2022年度「おおぶちそよ風こども園」「千羽保育園」2023年度「きとうこども園」の建設・開園。
- 2. 待機児童ゼロを実現。
- 3. iPadを全ての児童・生徒に配布。
- △ 4. 小中学校の連携を図り学園化構想の推進と、駅南地域への学校整備を検討。
- ◎ 5. 新生活を始める新婚夫婦を支援。

環境・エネルギー

エネルギーは自ら作る

- 1. 地域新電力会社「かけがわ報徳パワー」を通じた低炭素社会の実現。庁舎や学校など公共施設の9割以上を太陽光・風力エネルギー由来の電力に切り替える。
- 2. 環境資源ギャラリー(ごみ焼却施設)の更新計画を進める。
- △ 3. 紙おむつのリサイクルを推進。

デジタル

誰一人取り残されない社会へ

- 1. 掛川市公式LINEで子育て世帯を対象にきめ細かい情報を届ける。
- 2. AIを活用し迅速で公平な保育所入所選考手続きに変更。
- 3. 申請手続きのうち50%以上の押印手続きを廃止。



欲しい情報を選べる「仕組み」を導入



電子申請(びったりサービス)の開始

久保田たかし プロフィール

掛川市に生まれ育ち、国家公務員試験に合格し内閣府の官僚となるも、2011年の東日本大震災が起こるとボランティア活動をきっかけに若手県陸前高田市の副市長に請われて4年間復興に尽力。退任後は立命館大学教授、掛川市副市長を経て2021年4月に掛川市長に就任。

1976年 掛川市城西にて生まれる(2歳のとき青葉台に引っ越し)
1983年 智光幼稚園卒園
1989年 掛川市立西山口小学校卒業(スポーツ野球少年団)
1992年 掛川市立東中学校卒業(バスケットボール部)
1995年 掛川西高校卒業(弓道部)
2000年 京都大学総合人間学部卒業
2001年 国家公務員試験合格、内閣府入府。

2009年 内閣府参事官補佐としてニート・ひきこもり対策を内容とする「子ども・若者育成支援推進法」の制定や青年国際交流事業等に携わる。
2011年 若手県陸前高田市副市長
ボランティア活動が縁となって被災地の復興業務に携わる。
2016年 立命館大学教授
2019年 掛川市副市長
2021年 掛川市長

● 編集・発行：掛川未来会議 掛川市青葉台7-9 メール：info@takashi-kubota.net
● 寄付用銀行口座：静岡銀行 掛川東支店 普通 0525680 久保田たかし後援会 代表 久保田 角夫
久保田たかしの活動は皆様からのご支援・ご寄付に支えられています。

「久保田たかし」公式LINEアカウントから友達登録もお願いします！



【ホームページ】 <https://takashi-kubota.net>

久保田たかし 掛川市 検索

